

(様式2)

農業の新しい技術

No. 720(令和元年(2019年)5月)
分類コード 01-14
熊本県農林水産部

褐毛和種種雄牛「重波泉」の選抜

農業研究センター 畜産研究所生産基礎技術研究室
担当者：眞鍋由希

研究のねらい

産肉能力直接検定で選抜された種雄牛の遺伝的能力を推定するため、後代牛による産肉能力現場後代検定を実施し、その結果に基づき優秀な種雄牛を選抜する。

研究の成果

1. ロース芯面積及び枝肉重量に優れた褐毛和種種雄牛「重波泉」を選抜した。

血統

父 波泉 (繁殖 116)	祖父 光玉波(高 80)	— 第五玉波(特級 96)
	祖母 しげほまれ (産肉 640)	— 光重 E T(育高 1)
母 なみよ (繁殖 18614)	祖父 波泉(繁殖 116)	— 光玉波(高 80)
	祖母 第六しげこ (育高 635)	— 第十光丸(高 76)

登録番号：繁殖 206

生年月日：平成 25 年 8 月 4 日

生産地：宇城市豊野町(益田敏弘)

2. 現場後代検定成績および育種価

ロース芯面積は去勢 73.0 cm^2 、雌 63.0 cm^2 、全体平均 67.6 cm^2 といずれも歴代最高の成績であった。育種価も $+19.273\text{ kg}$ (評価種雄牛 521 頭中 1 位)と極めて高く、優れた能力を有すると推定される。

枝肉重量は去勢 532.5 kg 、雌 477.5 kg となっており、育種価も $+45.493\text{ kg}$ (評価種雄牛 521 頭中 14 位)と極めて高く、優れた能力を有すると推定される。

皮下脂肪についても去勢、雌ともに 3 cm 以下と薄く、育種価は -1.465 cm で評価種雄牛 521 頭中 2 位であった。

S B V は枝肉重量 2.65、脂肪交雑 2.1、ロース芯面積 5.72、バラの厚さ 1.95、皮下脂肪の厚さ 3.25 であり、すべての項目について改良効果が大いいと推定される。

S B V (標準化育種価)は、育種価評価値をわかりやすくするために標準化したもの。値が 1 以上の場合、改良効果が高いことを示す。

3. 特徴

ロース芯面積が去勢、雌ともに歴代最高の成績であり、枝肉重量や日齢枝肉重量にも優れていることから増体性と肉量面、特にロース芯面積の改良への貢献が期待される。

[具体的データ]

熊本県農林水産部



重波泉 (しげなみいずみ)

格付け:A-4 枝重:547.0kg
BMS No.:6 ロース:83cm²
ばら 8.6cm 母の父:弦幸

表1 現場後代検定成績

区分	頭数	枝肉重量 (冷と体) (kg)	脂肪交雑 (BMS No.)	ロース 芯面積 (cm ²)	バラの 厚さ (cm)	皮下脂肪 の厚さ (cm)	日齢枝肉 重量 (g)
去勢	7	532.5	4.10	73.0	7.9	2.0	688.6
雌	9	477.5	3.60	63.0	7.8	2.7	613.9
全体	16	501.6	3.80	67.6	7.9	2.4	646.6

表2 育種価(BV) (H31.4 評価)

	順位	育種価	(正確度)
枝肉重量	14	45.493	0.91
脂肪交雑 (BMS No.)	13	2.299	0.93
ロース芯面積	1	19.273	0.90
ばらの厚さ	23	0.6421	0.90
皮下脂肪の厚さ	2	-1.4651	0.93
日齢枝肉重量	13	59.952	0.91

後代頭数 21 頭(フィールド成績を含む)

順位は評価種雄牛 521 頭中の順位

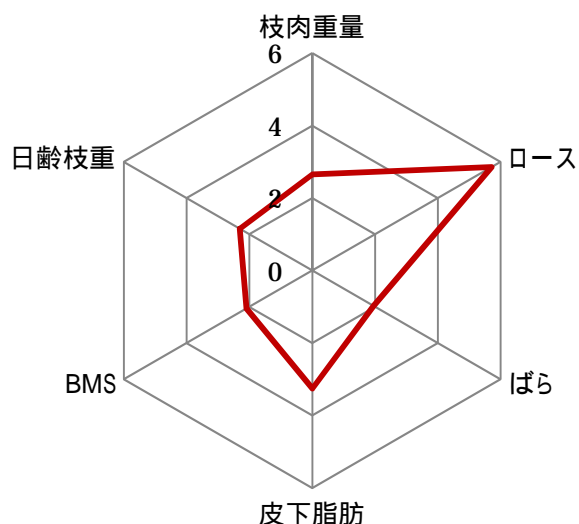


図1 SBV (標準化育種価)
形質ごとに比較でき、わかりやすくするため
に標準化したもの
皮下脂肪は逆符号